



2006年3月期 業績概要

2006年4月27日

アンリツ株式会社

社長 戸田 博道

(<http://www.anritsu.co.jp/j/ir>)

東証第1部:6754

注記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

目次

- 当社の事業セグメントの呼称と事業内容について
- 2006年3月期の総括
- 2006年3月期業績概要
- 2007年3月期業績見通し
- 2006年度の取り組み

当社の事業セグメントの呼称と事業内容について

セグメント	サブセグメント	事業内容	担当事業部の 主な所在国
計測器	ワイヤレス	携帯電話端末開発・製造・保守用テスト、無線インフラ敷設・保守用テストなど	日本・米国 (英国)
	汎用	無線設備、電子部品等の開発・製造用汎用テストなど	米国・日本 (英国)
	光・デジタル・IP	光・デジタル・IP通信機器の開発・製造用テスト、およびネットワーク評価・保守用テストなど	日本 (米国・フランス)
	サービスアシュアランス	携帯電話ネットワークなどのサービス品質モニタリングサービス	デンマーク (イタリア)
情報通信機器		映像配信機器、通信機器、IPスイッチなど	日本
産業機械		食品・薬化用品用重量選別機、異物検出機など	日本
その他		印刷はんだ検査機、光デバイスなど	日本

2006年3月期の総括

1. 2006年3月期業績(連結)

売上高: 913億円(対前期比+9%)

営業利益: 45億円(対前期比△3億円)

経常利益: 16億円(対前期比△4億円)

2. 売上動向

事業別:

計測器は対前期比18%増

■ワイヤレス: 3G/3.5G計測器、ハンドヘルド計測器が牽引

■汎用: 新型信号発生器、デジタル放送用計測器が伸張

■旧NetTestが下期に連結寄与

産業機械は前期並み

情報通信機器は対前期比17%減

地域別: 海外は好調 欧州は対前期比34%増、

アジア他が25%増、米州が24%増、日本は5%減、

3. 事業構造改革

(1) 旧NetTestの買収

- 3月末までに、事業部の統合、営業組織の統合、重複人員整理は予定通り完了
- 開発ロードマップの統合と技術・生産リソースの効率的配置（統合プロセス第2段階）を2006年度上期に実施

(2) 情報通信機器事業の改革

- 3月末までに、人員削減など固定費圧縮、事業再編の施策は予定通り完了（4月1日より新体制でスタート）
- 2006年度上期に、分社化を実施

2006年3月期業績概要

前期比連結売上高は伸張するも、情報通信事業と旧NetTestの営業損失により、利益減。

単位：億円

	連結			単独			(参考)旧NetTest除く連結	
	2005年3月 期実績	2006年3 月期実績	前年比増 減	2005年3 月期実績	2006年3 月期実績	前年比増 減	2006年3月 期実績	前年比増 減
売上高	840	913	+9%	497	483	-3%	864	+3%
営業利益	49	45	-6%	19	11	-42%	58	+18%
経常利益	20	16	-20%	11	-6	-	29	+50%
税引前利益	21	20	-2%	12	-1	-	33	+60%
当期純利益	13	6	-56%	13	-2	-	19	+46%
FCF	82	-50	-	-	-	-		
設備投資額	19	27	+44%					
減価償却費	34	35	+2%					
研究開発費	105	125	+19%					
売上高比率	12.5%	13.7%	-					

配当：7円(期末3円)予定

Discover What's Possible™

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入している

Anritsu

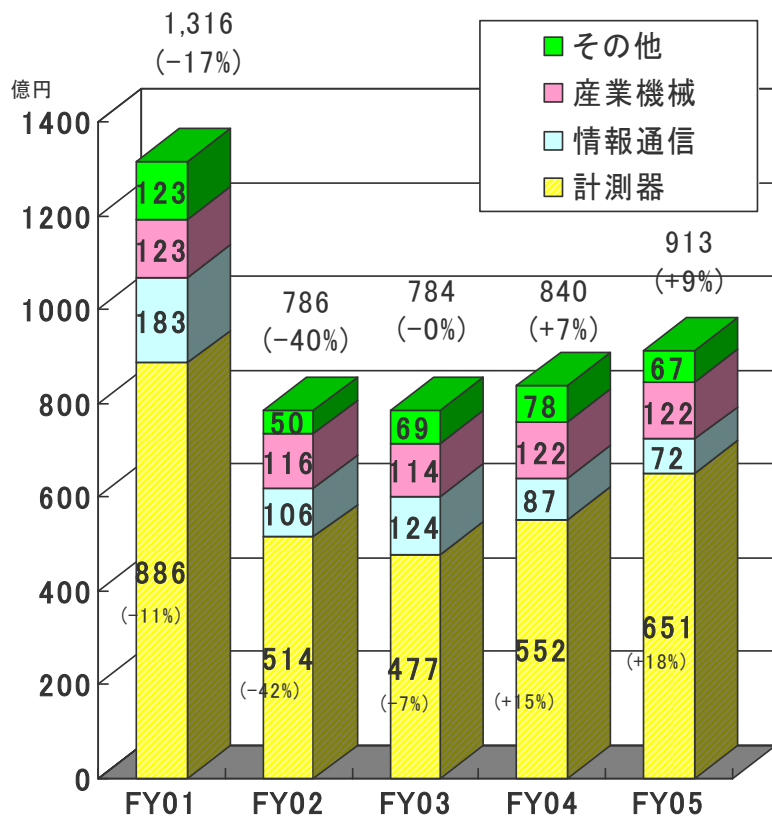
連結売上高・営業利益(事業別)

主力の計測器事業は、ワイヤレス分野を中心に堅調に推移
 情報通信事業は減収、赤字幅拡大

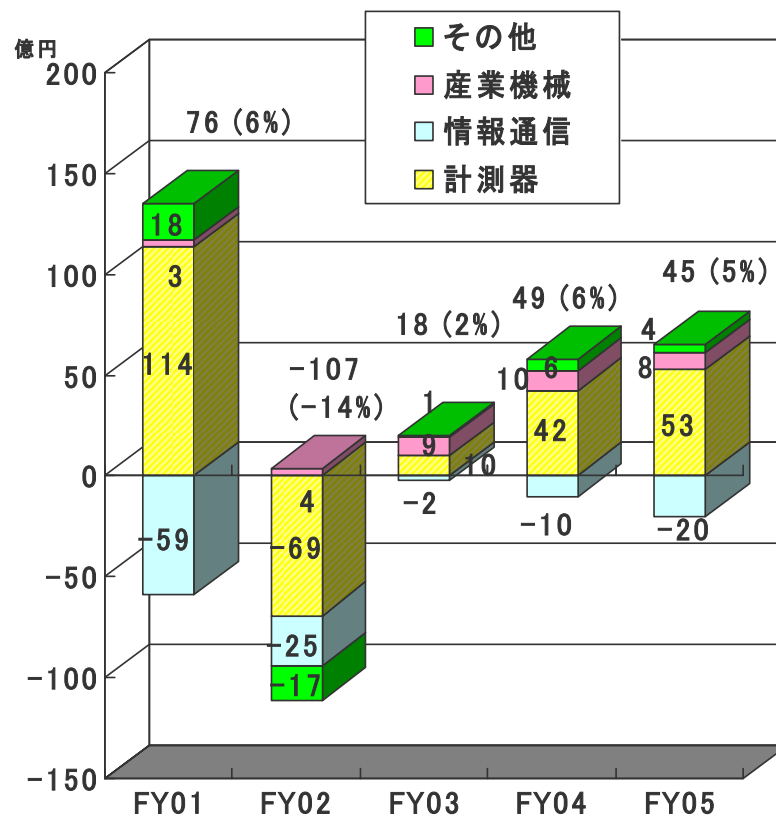
単位:億円

		2005年3月 期実績	2006年3月 期実績	前年度比 増減(%)
計測器 NetTest含む	売上高	552	651	+18%
	営業利益	42	53	+25%
計測器 NetTest除く (参考)	売上高	552	602	+9%
	営業利益	42	66	+57%
情報通信機器	売上高	87	72	-17%
	営業利益	-10	-20	-
産業機械	売上高	122	122	-0%
	営業利益	10	8	-21%
その他	売上高	78	67	-14%
	営業利益	6	4	-30%

連結損益 年度別推移

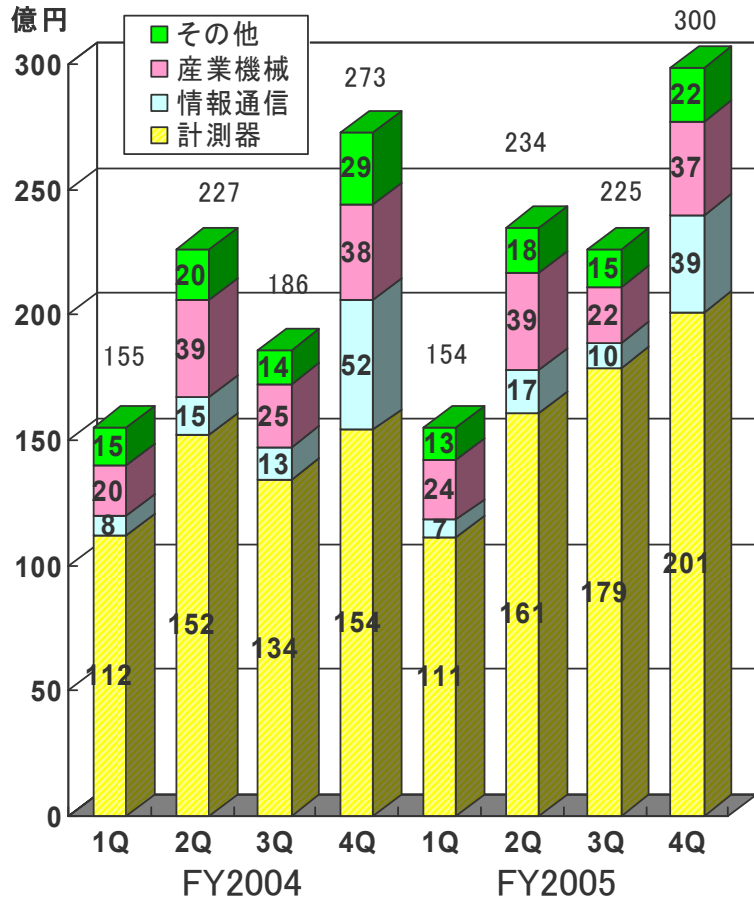


連結売上高推移

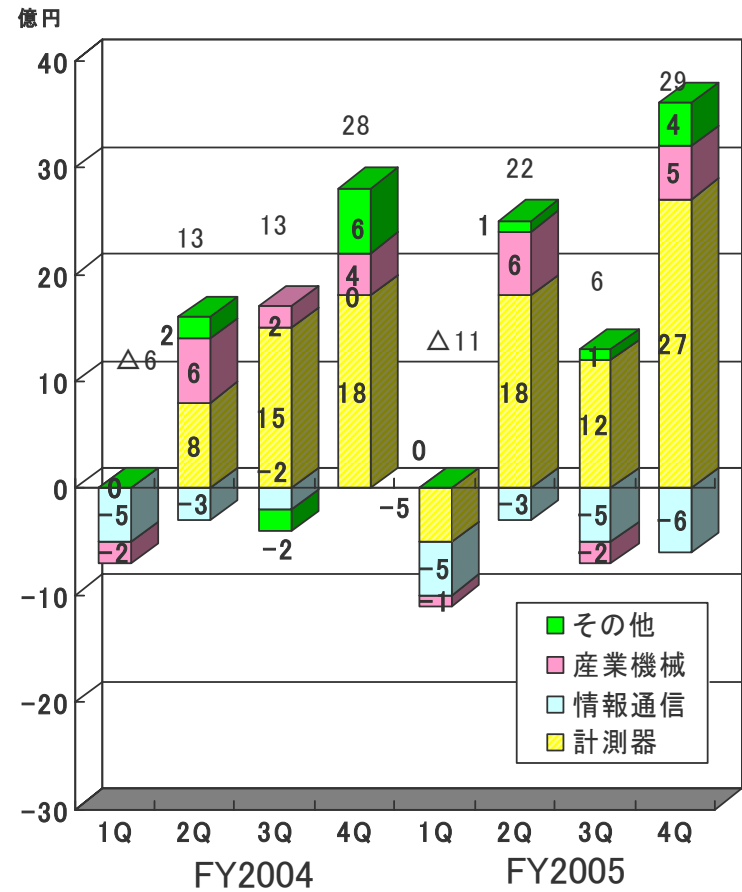


連結営業利益推移

連結損益 四半期別推移



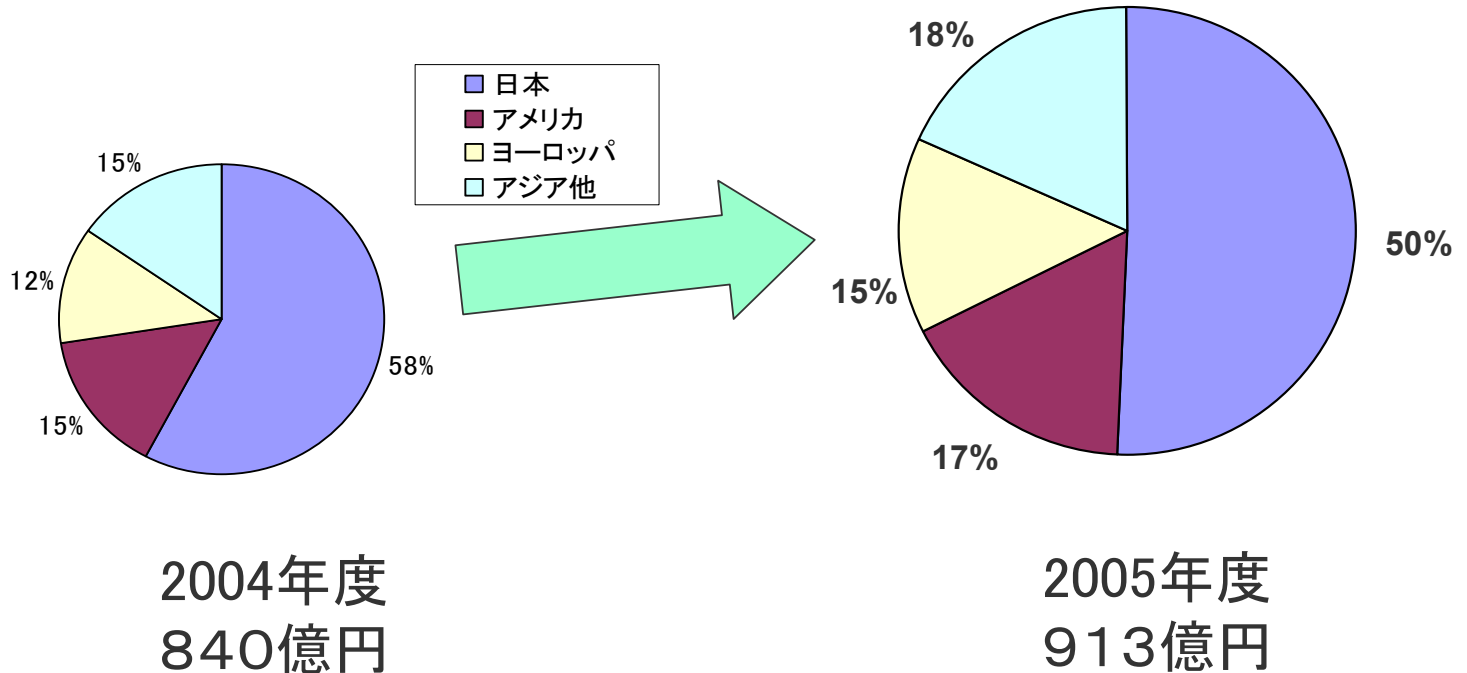
連結売上高推移



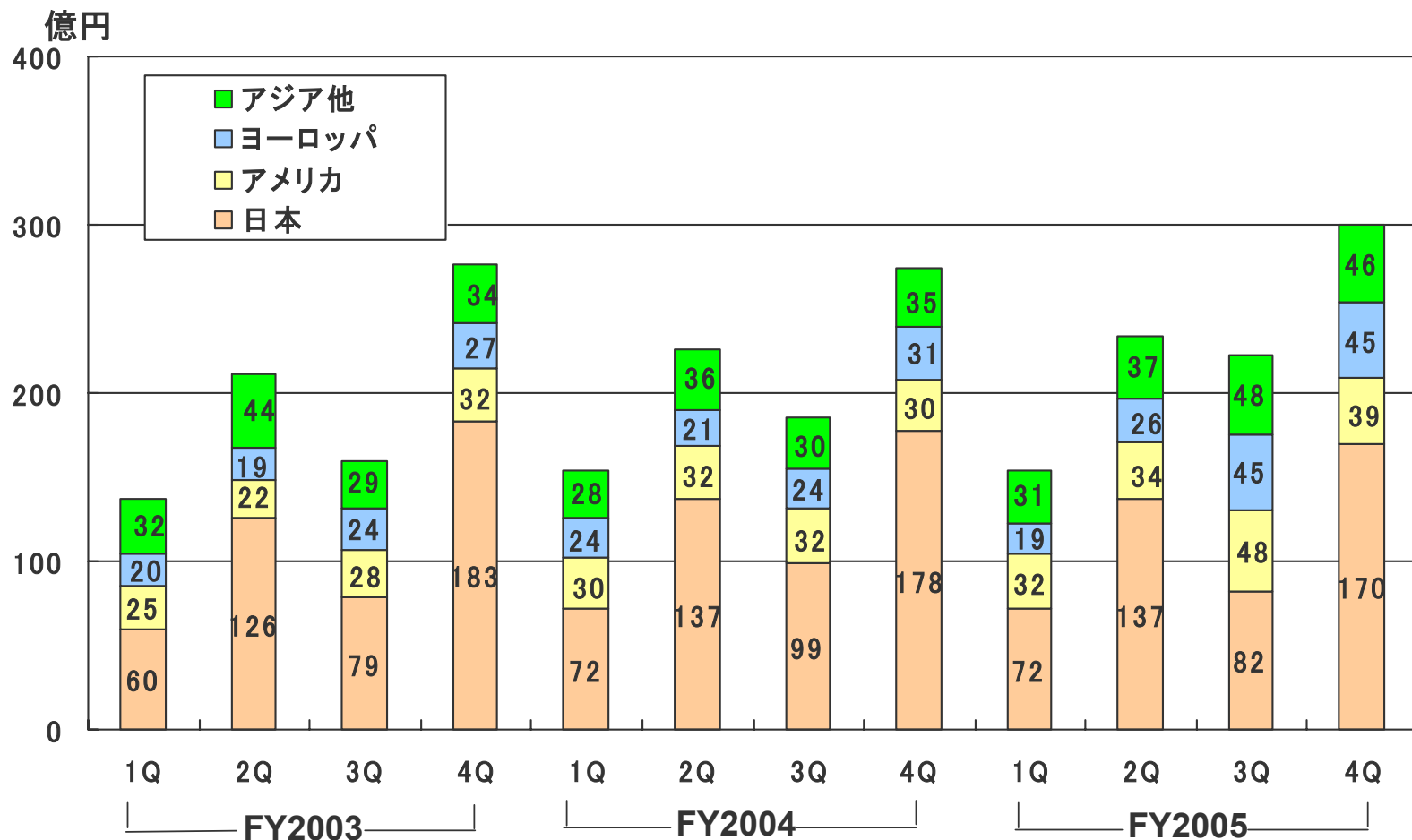
連結営業利益推移

地域別連結売上高

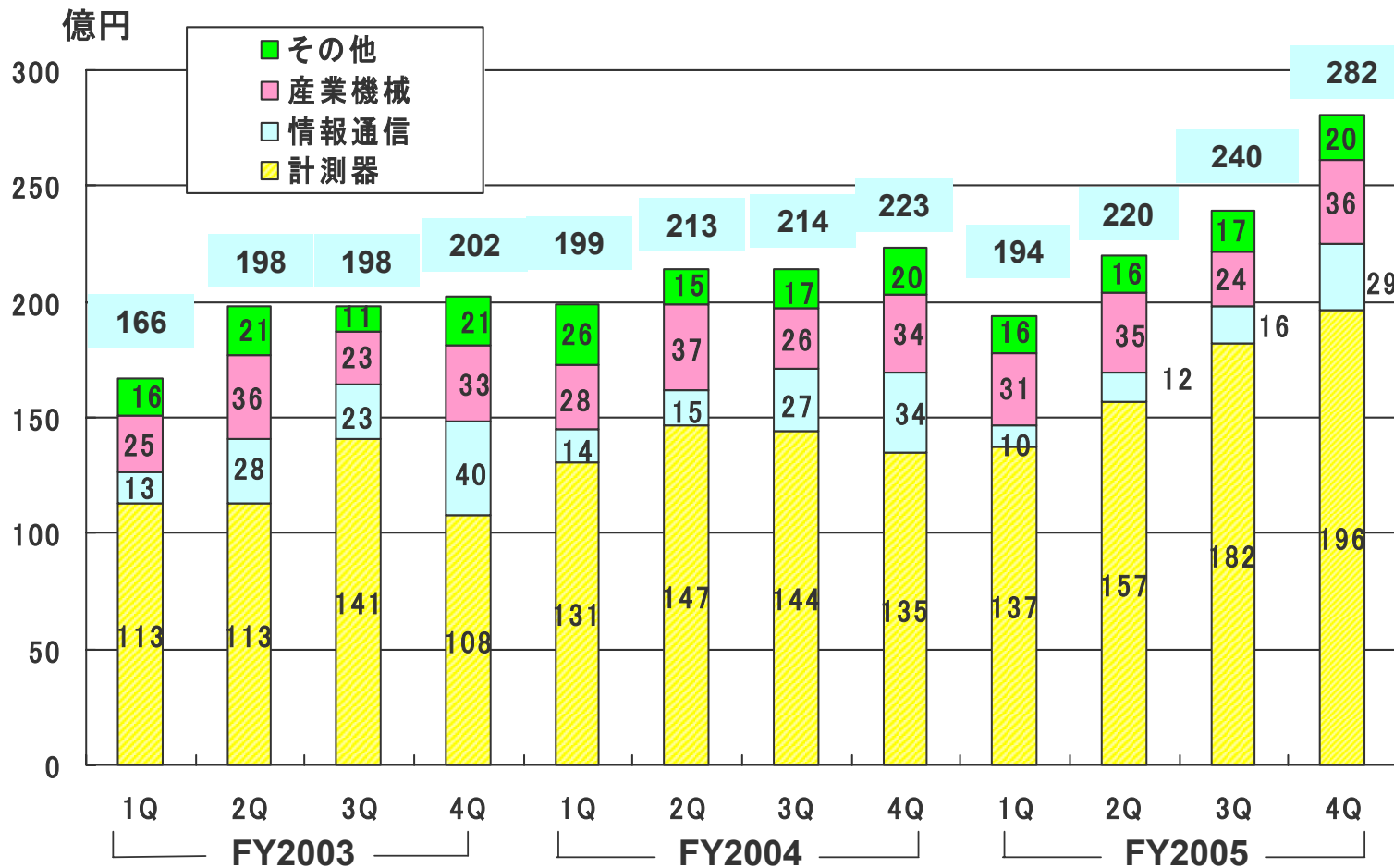
国内の売上高は情報通信事業で減少、
計測器は海外での成長(旧NetTestの下期の連結売上高49億円を
含む)によりグローバル化が進展



地域別売上高推移（連結）



セグメント別受注推移（連結）



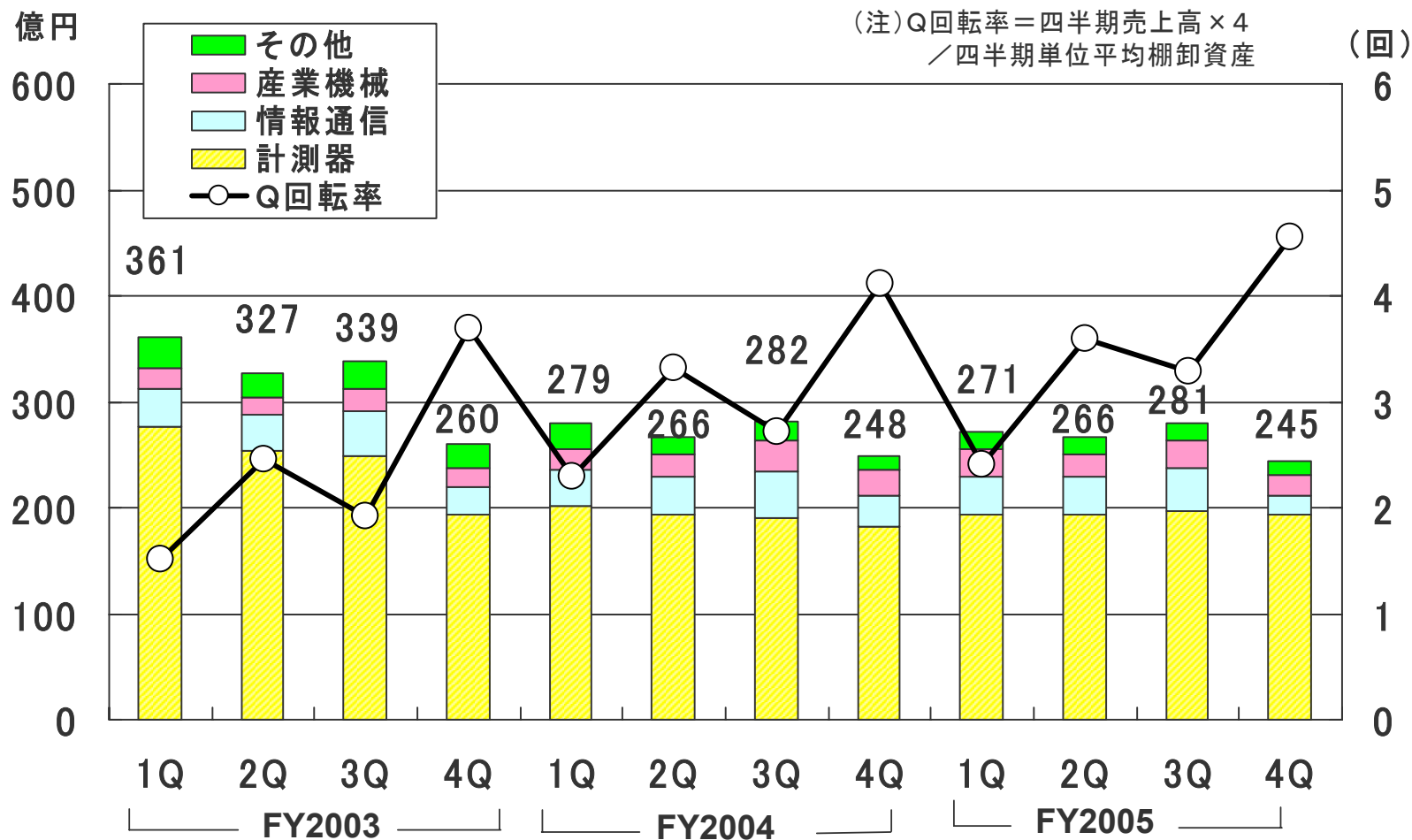
営業外・特別損益概要(連結)

△:損失(百万円)

	2006年3月期 実績	2005年3月期 実績
営業利益	4,549	4,862
金融収支	△ 909	△ 869
棚卸資産評価損等	△ 1,796	△ 1,581
為替差損益	551	△ 88
その他	△ 766	△ 301
営業外損益計	△ 2,920	△ 2,839
経常利益	1,628	2,023
構造改革費用	△ 1,024	-
投資有価証券売却益	1,648	
固定資産売却損益等	150	542
その他	△ 376	△ 487
特別損益計	399	55
税引前利益	2,027	2,078

株式売却益の一部を情報通信事業の構造改革費用に充填

棚卸残高推移(連結)



連結キャッシュフロー概要

2006年3月期

①営業CF: 59億円

②投資CF: △110億円

③財務CF: 18億円

フリーキャッシュフロー

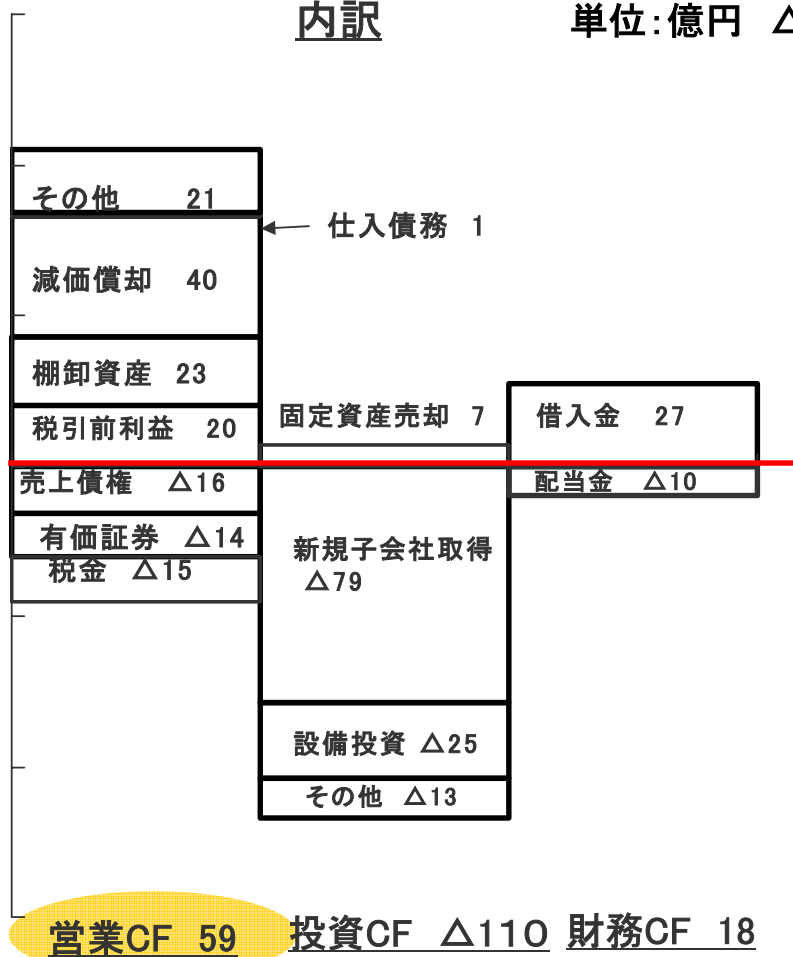
(①+②): △50億円

現預金の期末残高

309億円

内訳

単位: 億円 △: 減少



2007年3月期業績見通し

2007年3月期の重点課題

計測器事業の継続的成長のための研究開発の強化、情報通信事業の赤字解消により、利益ある成長の基盤作りを確実に実行する

単位：億円

	2006年3月期連結実績	2007年3月期連結見通し	対前年比増減(%)
売上高	913	980	+7%
営業利益	45	65	+43%
経常利益	16	35	+115%
税引前利益	20	35	+73%
当期純利益	6	25	+344%
FCF	-50	60	
設備投資	27	24	-11%
開発費	125	147	+18%
減価償却	35	34	-2%

	2006年3月期単独実績	2007年3月期単独見通し	対前年比増減(%)
	483	500	+4%
	11	28	+156%
	-6	18	-
	-1	18	-
	-2	20	-

配当：7円(中間3.5円)の予定

2007年3月期業績見通し

事業セグメント別計画

単位: 億円

		2006年3月 期実績	2007年3月期 計画	前年同期比 増減(%)
計測器	売上高	651	730	+12%
	営業利益	53	55	+4%
情報通信機 器	売上高	72	65	-10%
	営業利益	-20	0	-
産業機械	売上高	122	125	+2%
	営業利益	8	8	+2%
その他	売上高	67	60	-11%
	営業利益	4	2	-55%

2006年度の取り組み

計測器事業

- グローバルオペレーション体制の強化
 - Anritsu EMEA Ltdの設立
 - 光・デジタル・IP事業部門の統合
- 次期成長ドライバの基礎固め
 - デジタルワイヤレスのコンバージェンス
3G、3.5G、WiMAX、デジタル放送
 - NGN
40Gbps、ネットワークモニタリング

2006年度の取り組み

Anritsu EMEA Ltdの設立



■ 設立日

2006年4月1日

■ 所在地

本社：英国

拠点：フランス、ドイツ、イタリア、ノルディック

■ 目的

計測器ビジネスの欧州、中近東、アフリカ地域での発展を支え、
かつ費用効果の高い営業組織の構築

■ マネージメント

- 在欧州事業部と分離し、営業会社としてマネージメント
- 営業会社と事業部会社を横断的に共通化するバックオフィス部門を持ち
効率化を実現

■ 販売拠点

市場規模・営業戦略に合わせた、販売拠点の統廃合・再配置

2006年度の取り組み

光・デジタル・IP事業部門の統合

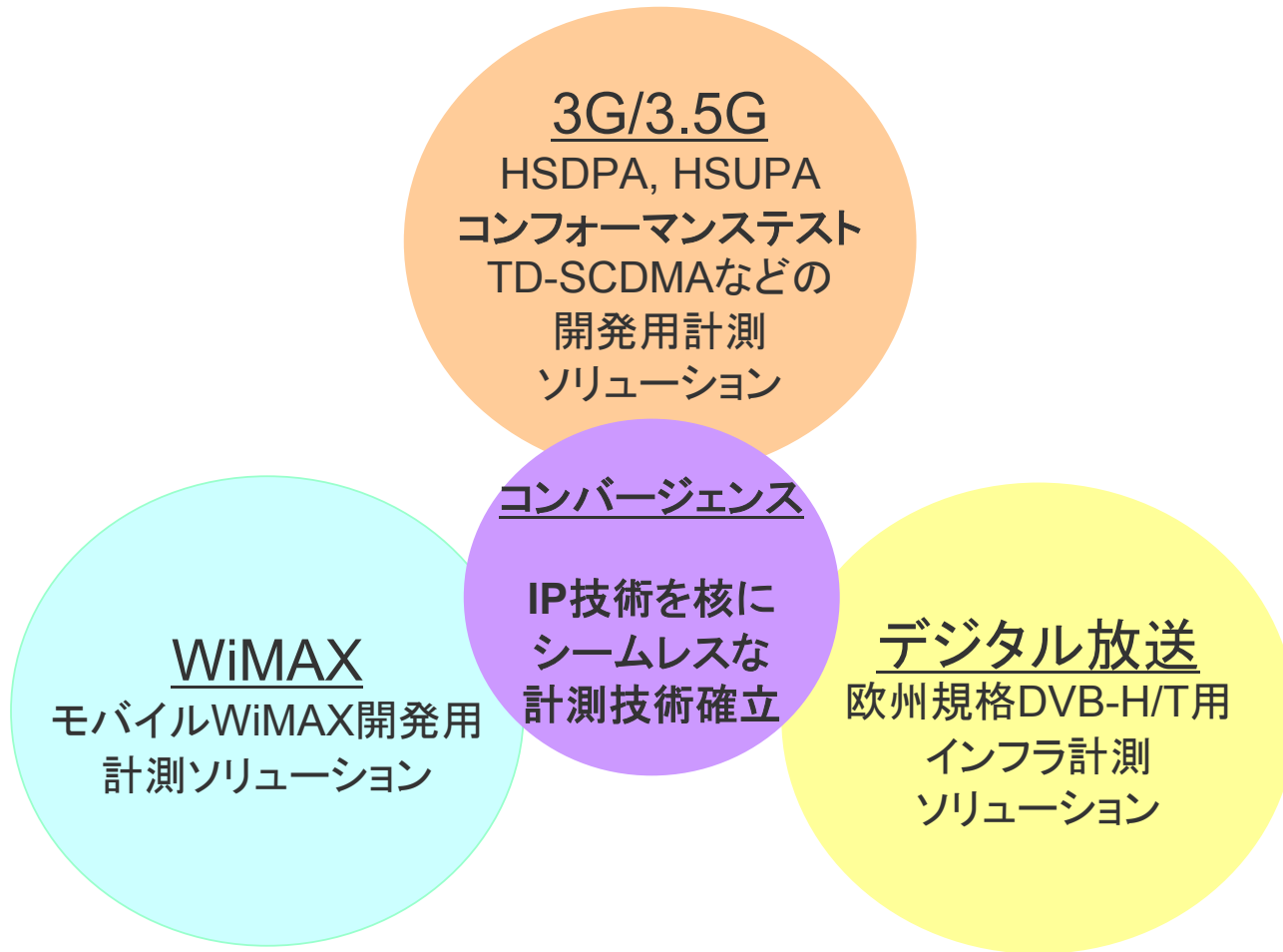
Engineering

Engineering,
Marketing,
Manufacturing

Engineering
& Marketing

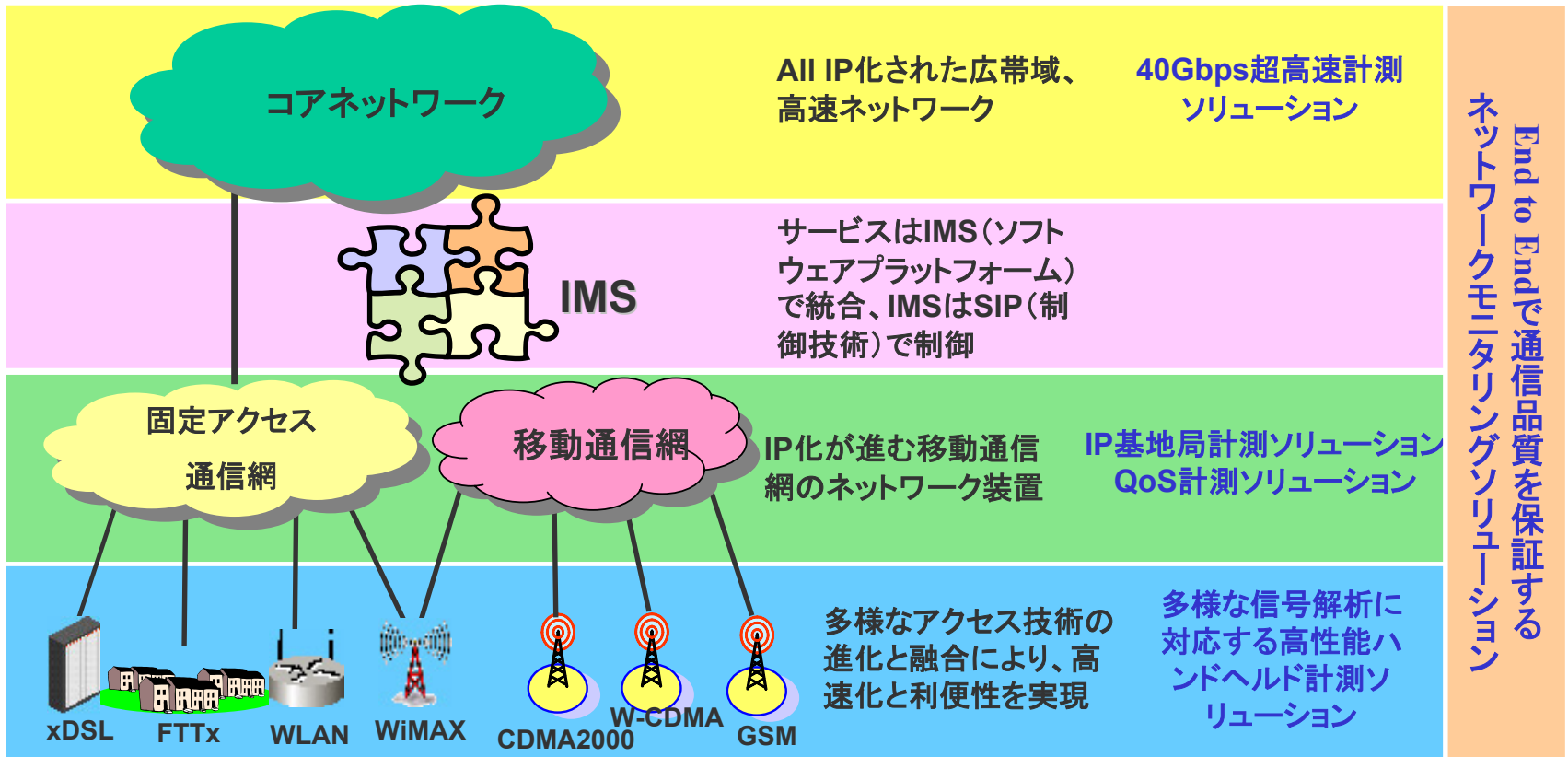
- 課題
 - 従来からのアンリツIPネットワーク計測器部門と旧NetTestの光計測器部門(米国・フランス)との重複解消
 - 世界最大市場である北米でのプレゼンス拡大
- マネージメント
 - 旧ネットテスト光計測器部門を従来からのアンリツIPネットワーク計測器部門にマネージメントを統合
- 統合施策
 - 開発ロードマップの統合
 - 米国製造部門のリストラと東北アンリツ(製造子会社)への製造集約
 - 北米地区マーケティング機能を拡充

2006年度の取り組み デジタルワイヤレスのコンバージョン



2006年度の取り組み

NGNを支える技術とアンリツの計測器事業



IMS : IP Multimedia Subsystem

SIP : Session Initiation Protocol

QoS : Quality of Service

Discover What's Possible™

Anritsu

2006年度の取り組み 情報通信機器事業

■固定費削減

人員 320名 → 200名

■プロダクトミックスの変更(変動費率の改善)

官公需中心(道路河川情報システム 等)

→ 民需増強(映像配信 等)

ネットワーク監視、効率化ビジネスへの参入

■子会社化による独立採算意識の高揚

新会社名：[アンリツネットワークス株式会社](#)

(06年7月設立予定、アンリツ(株)の100%子会社)